

八幡神社境内でかけ声とともに激しくぶつかり合う屋台
＝ 4 日午後、福島市飯坂町



夜を彩る秋祭り

提灯が揺れ夜の城下町を彩った太鼓台
＝ 4 日午後、二本松市



屋台激突 迫力満点 飯坂けんか祭り

福島市飯坂町の八幡神社の例大祭は4日、「飯坂けんか祭り」という異名の由来になった「宮入り」が行われた。参加6町の担ぎ屋台が境内で何度も激突し、屋台が斜めにせり上がるほどの迫力あるぶつかり合いが見物客を魅了した。その激しさから「日本三大けんか祭り」の一つに数えられる。起源は定かではないが、屋台同士のおつかり合いは1933年の宮入りの際、神社にみこしが納まると祭りが終わってしまう寂しさから、それを防ぐため二つの屋台がぶつかったのがきっかけとされる。

神社境内では、屋台の中で打ち鳴らす太鼓の音が響く中、担ぎ棒を突き合わせた屋台が今にも倒れそうなおどろきと上がり、見物客から大きな歓声が上がった。

城下町巡る太鼓台 二本松提灯祭り

360年余の歴史と伝統を誇る重要無形民俗文化財の二本松神社例大祭「二本松の提灯祭り」は4日、二本松市で開幕した。1台に約300個の提灯をともした7町の太鼓台がそろって市街地を練り歩き、秋の城下町を祭り一色に染めた。6日まで。

初日は宵祭り、二本松神社で御神火を受けた各若連の代表が発地点まで走り、あいにくの小雨の中、提灯に火をともした。

勇壮な祭りはやしに合わせて練り出した太鼓台は、提灯を揺らしながら深夜まで中心市街地を巡り、城下町の夜空を鮮やかに彩った。

5日の本祭りは午前8時25分から7町合同引き回しを繰り広げる。6日の後祭りは4町と3町に分かれての引き回しが行われる。

▲10月5日 福島民友新聞掲載

二本松提灯祭りも飯坂けんか祭りもすごい迫力ですね。皆さんの秋祭りはどんなですか。



飯坂けんか祭りについて考えてみよう

記事を読んだ感想や意見を書いてみよう。

(When) いつ？

(Where) どこで？

(Who) だれが？

(What) 何を？

(How) 「宮入り」はどんな様子？

(Why) なぜ「けんか祭り」が始まった？